



テーマ  
求められる働き方  
8/2  
16:00~17:30 (月)

男性育児休業時代に

誰が休んでも  
まわる職場を作る

開催方式  
オンライン形式  
〔Zoomウェビナー〕

申込はQRより



申込締切  
7月23日(金)



参加費無料

株式会社ワーク・ライフバランス代表取締役社長

YOSHIE KOMURO

講師  
小室 淑恵

1000社以上の企業へのコンサルティング実績を持ち、残業を減らして業績を上げるコンサルティング手法に定評があり、残業削減した企業では業績と出生率が向上している。「産業競争力会議」民間議員など複数の公務を歴任。2児の母。

(お問い合わせ) 国立大学法人長崎大学 ダイバーシティ推進センター tel.095-819-2889 <https://www.cdi.nagasaki-u.ac.jp/>

2022年春から、改正育児介護休業法が施行され、男性の育児休業を、組織から本人に個別に案内・打診することが義務付けられます。一方で、厚生労働省の調査結果によると、上司によるパタニティーハラスメントが66%で、4割もの人が取得を断念しています。こうした中で、マネジメント層は、男性が育児休業を取得しても、問題なく回る職場づくりはどう作ったらよいのでしょうか？ 男性の育休取得は組織の業績にプラスになるのでしょうか？1000社のコンサルティングをしてきた中から、具体的な他社事例と共にご紹介いただきます。

